

海外支援プログラム実験終了報告書

2019年4月8日

実験者1 (氏名・所属) : 西村 智貴・京都大学大学院 工学研究科 高分子化学専攻
実験者2(*1) (氏名・所属) : 山本 勝宏・名古屋工業大学大学院 工学研究科
研究代表者 (氏名・所属) : 西村 智貴・京都大学大学院 工学研究科 高分子化学専攻
中性子散乱課題番号・装置名 : 18911・SASN-U
実験課題名(*2) : SANS 測定による分子透過性ベシクルの Poly(propylene oxide)層中の水和量の決定
利用施設・装置 : ANSTO・BILBY
利用期間 : 2019年 3月23日 ~2019年3月29日
実験の概要(*3) : ANSTO BILBYにおいて、Carbohydrate-block-Poly(propylene oxide)からなる高分子ベシクルの中性子散乱測定を行った。塩の有無やその種類、さらには、温度を変化させることで、二分子膜中の水和量がどのように変化するかを明らかにする。得られた結果を詳細に解析し、透過と水和量との相関を明らかにする。

(*1) 1人のみ支援を受けた場合は空欄でお願いします。

(*2) 物性研中性子共同利用で採択された課題名です。

(*3) 簡単な記述で構いません。この報告書の提出をもって、旅費が支給されます。また、実験終了後2ヶ月以内に物性研 ISSP-NSL Database (<http://quasi.issp.u-tokyo.ac.jp/db/index.php>)から activity report の提出をお願い致します。